

～内閣府特命担当大臣表彰～

特定非営利活動法人子どもNPOセンター福岡

福岡県福岡市 / 福岡市推薦

<https://npoccf.jp/>

代表者名:重永 侑紀 活動開始:平成16年2月 団体構成員数:96名

市民やNPOのつながりや連携の核となるとともに、そのネットワークを活かした行政との協働や研究活動を通じ、子供と家庭への支援を行う団体です。

市民活動のネットワークを里親制度の啓発や里親支援に活かした行政との共働事業を15年以上継続し、家庭養護の充実に寄与しています。また、様々な情報発信や講座を通じて子供の社会課題に対する市民一般の関心を高めると同時に、NPOの運営を支援するなど、市民活動の発展に貢献しています。学童期の子供や中高生の居場所づくりにも取り組んでいます。さらに、『ふくおか子ども白書』の編纂を通じ、多様な立場から子供を取り巻く現状の分析や活動報告、提言を行っているほか、『子どもアドボケイト』の養成を行うなど、市民の力による子供の福祉向上をリードしています。

選考委員のコメント

子供にやさしいまちづくりの普及や活性化に向けたプラットフォームとしての新しい役割を創出しています。また、里親養育支援に関する長い活動経験が、子供の居場所づくりなどに生かされています。また、NPOが独自で行う子供に関する調査・研究活動は少ないなか、重要な役割を担っており、高く評価しました。

受賞の言葉

この度は栄誉ある賞をいただき、大変光栄に存じます。本法人は、子供分野の課題に取り組むNPOや個人とネットワークを作りながら、里親養育普及や子供の居場所づくり、『ふくおか子ども白書』の発行などの活動を続け、第17事業年度を迎えました。今年度は代表交代を機に新たな体制を構築し、子どもアドボカシーの啓発などを通して、「子どもの権利」が広く浸透し、全ての子供が尊重される社会を目指して日々活動に取り組んでおります。

この度の受賞を糧として、一層子供分野の活動のつながりと「子どもの権利」擁護のためのシステム作りに向けて力強く進んで参ります。



子どもアドボカシー
公開講座



子どもの居場所づくり事業



ふくおか子ども白書



表彰式の様子